

海上自衛隊からす小島訓練場温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称
海上自衛隊 からす小島訓練場
- (2) 事業所の所在地
広島県呉市昭和町6番34号
- (3) 業種
9731 行政機関
- (4) 事業所位置図
付図のとおり。

2 計画の期間

本計画の期間は、平成23（2011）年度を基準年度とし、平成29（2017）年度から令和3（2021）年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

- (1) 基本的な考え方
平成28年5月13日に閣議決定された「政府がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の抑制等のため実行すべき措置について定める計画」（政府実行計画）に基づく温室効果ガス排出削減目標を達成することにより、温室効果ガスの排出削減に努めていく。
- (2) 方針
 - ア 省エネルギーの推進
 - イ 省エネルギー機器の導入促進
 - ウ 隊員、職員へ環境意識の向上

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO2）	
	基準年度 平成23年度	直近年度 平成28年度
二酸化炭素	5,233	4,420

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO2）	
	基準年度 平成23年度	直近年度 平成28年度
二酸化炭素	0	0

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO2）	
	基準年度 平成23年度	直近年度 平成28年度
メタン	11	27
一酸化二窒素	4	9
その他 温室効果 ガス HFC PFC SF6 NF3	0	0

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：建物延床面積（千㎡）

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量（kg等），削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成23年度)			原単位削減目標	目標年度 (令和3年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)		削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)
エネルギー起源CO ₂	5,234	44	118.95	10.0	5,350	50	107
非エネルギー起源CO ₂	0	44	0	0.0	0	50	0
メタン	11	44	0.25	0.0	0	50	0
一酸化二窒素	4	44	0.09	0.0	0	50	0
フロン類	0	44	0	0.0	0	50	0
総排出量	5,249	44	119.29	10.0	5,350	50	107
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)	1,869	44	42.47	10.0	1,911	50	38.22
目標設定の考え方	エネルギー消費原単位を年平均1.0%削減						

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

(1) 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	燃料の原単位を年平均1%削減	省エネルギー診断結果に基づくエネルギー消費機器の換装等 アイドリングストップ等エコドライブの実践 近距離移動の自転車の活用 ボイラー等の効率的運転 給湯器等の効率的な使用 シャワーの効率的な使用
2	電気使用量の削減	電気の原単位を年平均1%削減	省エネルギー診断結果に基づくエネルギー消費機器の換装等 休憩時間の消灯の徹底 OA機器のこまめな電源オフ 冷暖房の適切な温度管理及び効率的な使用 LED照明への更新

(2) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

なし。

(3) その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	水道使用量の削減	なし	節水の呼びかけ
2	紙使用量の削減	なし	封筒の再利用 用紙の両面印刷
3	環境意識の向上	年複数回実施	環境月間、環境週間の設定 環境保全に関するポスター等の掲示

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

- ア 工場等エネルギー管理統括者（管理部長）
- イ 工場等エネルギー管理企画推進者（環境保全専門官）
- ウ エネルギー管理員

(2) 実施状況の点検・評価

毎年度、温室効果ガス排出量を把握し、削減の取組に関する評価、点検結果について周知し、削減対策の推進に努める。

(3) 計画書等の公表

- ア 事務室に備え付けて閲覧できるようにする。
- イ 文書ファイルに保存し、情報開示請求に対応する。